

(4) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価（観点、方法等）																																						
7分	学習課題の把握をする 右図の資料は、A中学校の生徒20人の通学時間と分単位で調べたものです。通学時間の平均値を求めてみましょう。 <table border="1"> <tr><td>14</td><td>25</td><td>35</td><td>22</td><td>11</td></tr> <tr><td>32</td><td>17</td><td>28</td><td>3</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>12</td><td>10</td><td>34</td><td>14</td></tr> <tr><td>19</td><td>38</td><td>24</td><td>7</td><td>16</td></tr> </table>	14	25	35	22	11	32	17	28	3	25	26	12	10	34	14	19	38	24	7	16		(平均値) = $\frac{(\text{値の合計})}{(\text{資料の個数})}$ $\frac{412}{20} = 20.6 \text{ (分)}$																		
14	25	35	22	11																																					
32	17	28	3	25																																					
26	12	10	34	14																																					
19	38	24	7	16																																					
	電卓を用いて平均値を求める。 電卓を貸し出しの班を当て、平均値を答えもらう。																																								
	度数分布表を用いる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>階級(分)</th> <th>階級値(分)</th> <th>度数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0以上～10未満</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>10～20</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>20～30</td> <td>25</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>30～40</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	階級(分)	階級値(分)	度数(人)	0以上～10未満	5	2	10～20	15	8	20～30	25	6	30～40	35	4	計		20	・以上と未満の意味の認識	(平均値) = $\frac{\{(\text{階級値}) \times (\text{度数})\} \text{の合計}}{(\text{度数の合計})}$ $5 \times 2 + 15 \times 8 + 25 \times 6 + 35 \times 4 = 420 \text{ (分)}$ $\frac{420}{20} = 21 \text{ (分)}$																				
階級(分)	階級値(分)	度数(人)																																							
0以上～10未満	5	2																																							
10～20	15	8																																							
20～30	25	6																																							
30～40	35	4																																							
計		20																																							
	階級値の説明を行う。 次に階級値を用いて度数分布表を利用して平均値を求める。	・全てを同時に書くのではなく、一段一段書き、穴あめをしていく。																																							
	別の問題を提示する。 右図の資料はB中学校。生徒20人の通学時間と分単位で調べたものです。次の問いに答えなさい。 (1) 通学時間の平均値を求めなさい。 (2) 度数分布表をつくりなさい。 (3) (2)を用いて平均値を求めなさい。 <table border="1"> <tr><td>18</td><td>28</td><td>15</td><td>32</td><td>22</td></tr> <tr><td>26</td><td>5</td><td>29</td><td>8</td><td>27</td></tr> <tr><td>13</td><td>25</td><td>6</td><td>20</td><td>36</td></tr> <tr><td>4</td><td>21</td><td>18</td><td>28</td><td>25</td></tr> </table>	18	28	15	32	22	26	5	29	8	27	13	25	6	20	36	4	21	18	28	25		(1) $\frac{406}{20} = 20.3 \text{ (分)}$ (2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>階級(分)</th> <th>階級値(分)</th> <th>度数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0以上～10未満</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>10～20</td> <td>15</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>20～30</td> <td>25</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>30～40</td> <td>35</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> (3) $5 \times 4 + 15 \times 4 + 25 \times 10 + 35 \times 2 = 400 \text{ (分)}$ $\frac{400}{20} = 20 \text{ (分)}$	階級(分)	階級値(分)	度数(人)	0以上～10未満	5	4	10～20	15	4	20～30	25	10	30～40	35	2	計		20
18	28	15	32	22																																					
26	5	29	8	27																																					
13	25	6	20	36																																					
4	21	18	28	25																																					
階級(分)	階級値(分)	度数(人)																																							
0以上～10未満	5	4																																							
10～20	15	4																																							
20～30	25	10																																							
30～40	35	2																																							
計		20																																							
	教える時間を与え、3名の生徒に答えもらう。																																								
	指導過程は、具体的発問や指示を書いて、流れがわかるようにすること。																																								
	まとめをする。 ・平均値と度数分布表を利用して平均値の意味を知る																																								

評価規準等は、http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/chuu/03_chu_sugaku.pdf?time=1463185153571 を参考にする

指導過程は、具体的発問や指示を書いて、流れがわかるようにすること。